

クロサワが行く!

あなたの推しを教えてください。

クロサワ(以下、ク) 早速ですが、トウイさんの推しはなんですか? トウイさん(以下、ト) 3月に買った車です。ク それはそれは! 車を買ってどうですか? ト 乗り回します(笑) 車で通勤できるようになって、楽になりました。ク どこかにお出かけすることは? ト 休みの日は、目的地は決めずにドライブをしています。千葉や東京とか。最近、新宿や銀座にも行きました! ク 随分遠くまで行くんですね! ト もう、趣味はドライブと言ってもいいですね。ク ちなみに車に乗られて半年とのことですが、どれくらいの距離走ってるんですか? ト 多分3,000kmくらいですね! ク すごい! そんなに走ってるんですね! ト 車を持ってから、生活が変わりました。自分の車があると便利で、いろんなところに行けます。ク 今後、行ってみたいところありますか? ト 今度は、富士山まで行きたいです! ク いいですね! もう高速道路も怖くない? ト 怖くないですよ! どこまでも自由に行っちゃいます! ク 安全運転で、ドライブを満喫してくださいね! ト はい! 楽しめます。



interviewee



ファム・ティ・トウイさん

ベトナム出身。2024年2月、特養ちとせ小町に入社。日本語でのコミュニケーションが多い環境での仕事に就きたいと、介護職を希望した。前向きな性格の持ち主。



職員が一つになって感謝の気持ちを込めた、素晴らしい時間となりました!

スタッフの皆様・お客様やご家族の皆様・千歳会に関わってくださる協力会社様に、日頃の感謝をお届けしました。当日の様子はYouTubeでご覧いただけます。

感謝祭をチェック!



アスサキ vol.13

2025年11月25日発行 【発行】社会福祉法人千歳会

【制作】山本 梓/中浜崇之 社会福祉法人千歳会 黒沢優衣 【デザイン】入江阿寿香

社会福祉法人千歳会 法人本部 特別養護老人ホーム ちとせ稲毛

〒263-0012 千葉県千葉市稲毛区萩台町50-1
Tel:043-445-7840 Fax:043-445-7832
info@1000.or.jp (法人本部)
info-image@1000.or.jp (ちとせ稲毛)

社会福祉法人千歳会 法人本部 分室

〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町2-4-5-3F
Tel:03-6908-7777 Fax:03-5651-7667
info@1000.or.jp

特別養護老人ホーム ちとせ北本 居宅介護支援事業所 ちとせ北本

〒364-0001 埼玉県北本市深井3-25-1
Tel:048-579-5110 Fax:048-579-5114
info-kitamoto@1000.or.jp

特別養護老人ホーム ちとせ小町 デイサービスセンター ちとせ小町

〒285-0043 千葉県佐倉市大蛇町215-7
Tel:043-312-5111 Fax:043-312-5112
info-komachi@1000.or.jp

特別養護老人ホーム 三山園/デイサービスセンター 三山園

〒274-0072 千葉県船橋市三山2-3-2
Tel:047-476-2885 (特養・ショートステイ)
Tel:047-493-2208 (デイサービス)
Fax:047-474-3873

ケアハウス ちとせ/訪問介護ステーション ちとせ 居宅介護支援センター ちとせ/デイサービスセンター ちとせ

〒285-0836 千葉県佐倉市生谷75-10
Tel:043-464-1577 Fax:043-460-5776
info-chitose@1000.or.jp

ケアハウス こまち墨田館

〒131-0045 東京都墨田区押上3-61-4
Tel:03-6657-5690 Fax:03-6657-5691
info-sumida@1000.or.jp

居宅介護支援センター みほま

〒261-0004 千葉県千葉市美浜区高洲4-1-9 郁栄ビル2F
Tel:043-307-4711 Fax:043-307-4712

vol.
13

2025.11
Winter

千歳会オリジナルメディア

アスサキ

TOPIC

千歳会をぐるっと交換留学! 第13回
「お客様同士が体験!」
ケアハウスちとせの日常は、墨田館のお客様の目にはどう映ったのでしょうか?

ちとせ・かわら版13号

●特殊浴槽がリニューアルされました
●三山園のデイサービスにて尺八の演奏会を開催!
●健康に関する情報発信! 理学療法士によるブログがスタート

ICTを活用しよう! 座談会
サービスの質向上のためのICTのいま



三山園デイサービスでは尺八の演奏会が! (P3)



ケアハウスちとせにやってくる移動スーパーで買い物 (P4-5)



ガレッジセールのゴリさんが登場! (P2)

実力派の映画監督としてのキャリアも持つゴリさん。
笑いと真剣さを行き来する“表現者”として、ご自身の大切なお話をしてくださいました。



ひだり ひろまさ
左 敬真 理事長
現場職員とのコミュニケーションを大切にしている。
現場の仕事を体当たりで体験する連載「理事長
チャレンジ」も職員から人気を得ている。

ゴリ
沖縄県出身。お笑いコンビ「ガレッジセール」として
1995年から活動開始。ブレイクダンスなどの多彩
な特技を生かし、活動する。2006年からは、映画
監督・脚本家としても活躍。

生と死に
向き合う映画「洗骨」

理事長(以下、左) ゴリさんが監督をされた2018年公開の映画
「洗骨(せんこつ)」を拝見しました。タブー視されがちな「死」という
テーマに、真正面から向き合ってくれた映画だと感じました。

ゴリ(以下、ゴ) 母親の死がきっかけなんですね。母は闘病が
長くて、入退院をくり返していました。結局、母の死に目には会え
なかったんですね。容態が急変した時も、東京で生放送の番組
に出演していました。

左 お忙しい最中でのお別れとなってしまうんですね。
ゴ 沖縄に飛んでいって、母のお通夜に行きました。その夜、
亡くなった母ちゃんにちょっと触れてみたんです。喧嘩もしたなあ
なんて、生前の思い出がよみがえったりして。この時にふと、
思ったんです。「この人がいたから俺って、この世に存在してん

だよな」って。ということは、母ちゃんを産んでくれたおばあがいた
……って、何百、何千年って遡った先祖への想いが止まらなくな
ったんです。

左 特別で、とても大切なお話ですね。
ゴ 先祖たちの命のバトンが全部繋がって、母の後ろに長い
時間の道があって、母ちゃんがそこを歩いているように見えた。
命ってこうやって繋いでいくんだって思った時に、長編映画の
「洗骨」のイメージが降りてきたんです。

左 お母様から続く、長い長い命のバトンがあったと。
ゴ はい。だから母のおかげなんです。劇中のお母さん役の
名前も、僕の母と同じ「えみこ」とさせてもらいました。

※取材は7月16日に行いました。

ゴリさんとの対談の全編はこちら▶



理事長チャレンジ

理事長が現場職員たちのリクエストに応えるチャレンジ企画！

お題 千歳会オリジナルのお米「いきいきらいす」の収穫体験！

千葉県長生郡睦沢町にある、契約農家「市原農園」にやってきた理事長。
自らが安心・安全なお米を作り、お客様に召し上がっていただきたいという
夢があったと語ります。コンバインを操作して、実際に稲の収穫体験をした
理事長は長年の夢が叶って感無量の様子。「いきいきらいす」と名付けられ
たこのお米は、現在各事業所でお客様に提供させていただいています！



農家の方への感謝とご飯を
大切にしたい想いが強くなるね //

ちとせ・かわら版 // 13号

特殊浴槽がリニューアルされました

2025年度「競輪とオートレースの補助事業※」での採択を受け、デイサービス
センターちとせの特殊浴槽を改装しました。2012年の開設当時から、これまでの
浴槽を大切に使用してまいりましたが、この度の
リニューアルによって、1日に4～5名様が入浴
できるようになりました。また、除菌や掃除も楽に
なり、さらに清潔感のある入浴時間をご提供
いたします。お客様により安全で快適な入浴
サービスをご提供させていただくことが可能に
なりました。

※公益財団法人JKAによる「競輪とオートレースの補助事業 機械振興 福祉機器の整備」



三山園のデイサービスのなかで尺八の先生をお招き
し、スペシャルな演奏会を開催しました。静かな空間に響
く尺八の音色は、まるで風景が浮かんでくるような美し
さ。懐かしい童謡や日本の名曲が演奏され、お客様もうっ
とりと耳を傾けておられました。中には目を閉じて聴き入
る方や、口ずさみながら微笑まれる方の姿もあり、会場
は温かな雰囲気に包まれました。「昔を思い出したよ」
「生の演奏はやっぱりいいね」とのお声も多く、心に残る
ひとときとなりました。



三山園のデイサービスにて
尺八の演奏会を開催！

健康に関する情報発信！ 理学療法士によるブログがスタート

デイサービスセンターちとせのブログにて、理学療法士の知識を元にご自宅でも役に立つ健康情報を発信しています。執筆者は、理学療法士の上田知成さん。たとえば、「転倒転落事故を防ぐ」や「筋力トレーニングについて」、「シューズの選び方」など多岐に渡った情報が掲載されています。

デイサービスちとせの運営理念には「いつまでも住み慣れたご自宅で、快適に生活が継続できるよう機能訓練・自立支援を行います」とあります。お客様が事業所へ通所されている時間だけでなく、ご自宅の生活もより豊かになるように専門的な情報を発信しています。ぜひご覧ください。

ブログは
こちらから！



千歳会をぐるっと 交換留学!

本企画はじまって以来の、お客様による交換留学!
はじめまして同士にもかかわらず、あっという間に打ち解けて
いました。ケアハウスちとせの日常は、墨田館のお客様の
目にはどう映ったのでしょうか?

第13回

ケアハウスちとせ



ケアハウスこまち墨田館

「お客様同士が体験!」 Text by アスサキ編集部

聞いたひと



はた やすこ
秦 靖子さん

生まれも育ちも墨田区。入居して
2年弱の82歳。



ししど あつこ
宍戸 厚子さん

葛飾区出身の75歳。墨田館に入
居して1年半。

教えるひと



かんばら ゆきこ
蒲原 ユキ子さん

山形県出身の89歳。ケアハウス
ちとせに入居して6年。



たての さちこ
館野 幸子さん

高知県出身。ケアハウスちとせに
住んで、10年以上になる。現在
91歳。

自己紹介であっという間に 打ち解ける

墨田館からクルマで約2時間。長旅の疲れ
なんてものともせず、ケアハウスちとせで歓迎
されているのは墨田館の秦さんと宍戸さん。簡単
な自己紹介をただで、それぞれお話を華を
咲かせていました。「旅行が楽しみで、コロナの
前はあちこちに出かけていました。隅田川の遊
覧船にも乗りに行きましたよ」と、ケアハウス
ちとせの蒲原さん。皆さん夫を亡くされた身の
上は同じようですが、決してしみりとした
雰囲気にはなりません。「一人じゃないのがある
がたいわね」とか「三度三度ご飯を作るのはしん
どいけれど、ケアハウスはご飯が出るでしょ。助か
りますね」と、生活のスタイルが似ているようで、
お互いに共感を寄せ合っていました。

ケアハウスとは?

高齢により自宅での生活がしづらくなってきた方に向けた、
ケア付きのシェアハウス。

基本的な日常生活は自身で行うが、常勤する介護スタッフに
暮らしや心身における心配ごとなどを相談できる。



移動スーパーでお買い物

毎週金曜日にケアハウスちとせにやってくる
移動スーパー。トマトに牛乳、パンやお煎餅を
次々とかごに入れていくお客様の姿が見られ
ます。「いつもたくさん買っちゃうの。今日は
3000円ぐらいね」と嬉しそうなお顔です。
移動スーパーは、「臼井・千代田地域包括
支援センター」からのお声かけによつて3月
からスタートしたサービスです。地元のスー
パーマーケットKUSUMIのご協力により、
お肉や野菜、新鮮なお惣菜など約650品目
をトラックに積んで毎週やってきてくれます。
お食事は食堂で召し上がられますが、来客
時や入居者同士でしゃべりする際のお茶
菓子などに重宝しているそうです。



▲ケアハウスちとせの玄関
にトラックがやってきます



▼墨田館からのお客様・秦
さんも、ケアハウスのお客
様にまじってお買い物をさ
れていました



ケアハウスちとせ内を見学

一行は、食堂へ。ちょうどお昼時ということもあって、賑わっていました。
「美味しそう〜!」と、墨田館からの秦さん、宍戸さんも目を輝かせて
います。食堂の窓からは畑が見渡せることにも着目し、「お野菜を作っ
ているの?」と質問。
「入居者のなかで畑作業が好きな方がいらしてね、マメにコツコツやつて
くださるの。収穫できた野菜をいただくこともありますよ」と館野さん。
「いつも綺麗にしてくださるので、見ていて
気持ちいいです」と蒲原さんもお部屋に
その後なんと、蒲原さんのお部屋に
お邪魔させていただくことに!「広いわ〜」
「見晴らしもいいわね」と墨田館のメンバー
からは、感嘆の声が止まりません。自宅で
使っていた愛着のある家具も見せていただき
ました。
最後は「また会いましょうね」と握手をして
いた皆様。またこの企画もやりましょう!



▲食堂を見学しました

特別にお部屋にもお邪魔しました▼



ケアハウスちとせ

所在地 〒285-0836 千葉県佐倉市生谷75-10
E-mail info-chitose@1000.or.jp

TEL | 043-464-1577
WEB | <https://1000.or.jp/facility/ch-chitose/>



千歳会の日々

お題

地域に開く

全部で13の事業所がある千歳会。今号は事業所のブログから、地域に開いた活動やイベントのシーンをお届けします。お客様の元気なコメントも必見です！

千葉 特別養護老人ホーム ちとせ小町



ウクレレ演奏会を行いました！

「キラキラウクレレ」の皆様による演奏会。馴染みのある童謡からウクレレらしい曲などをご披露いただきました。「笑いヨガ」と演奏も！笑顔でいっぱいになりました。

千葉 デイサービスセンター ちとせ小町



敬老会を開催しました

今年の出し物は二人羽織とソーラン節。二人羽織では、思わぬ動きや食べ方に大笑い！会場が笑顔と笑い声に包まれました。今年もたくさん笑顔を作っていました！

千葉 ケアハウスちとせ・訪問介護ステーションちとせ・居宅介護支援センターちとせ・デイサービスセンターちとせ



洋品店「キャロル」がやってきた！

白井駅前の洋品店「キャロル」さんによる出張販売。お客様はゆっくりとお買い物を楽しませていました。「次はいつ来るの？」と次回の開催も楽しみにされていました。

千葉 特別養護老人ホーム ちとせ稲毛



流しそうめん大会を開催！

多くのお客様に楽しんでいただけたようで、「もっと欲しかった」などの声も。次回は増量し、さらに多くの皆さんに満足してもらえるよう計画したいと思います！

埼玉 特別養護老人ホーム ちとせ北本 居宅介護支援事業所 ちとせ北本



第3回子ども食堂開店！

地元名物の「北本トマトカレー」を提供しました。フィリピンとインドネシア出身の職員が焼きバナナを子どもたちにレクチャーし、大盛況となりました。

東京 ケアハウス こまち墨田館



屋上ひまわり庭園で隅田川花火大会！

墨田館屋上ひまわり庭園にて、お好きな飲み物とおつまみを片手に、隅田川花火大会を観賞いたしました。「今年はここ数年で一番きれい〜♪」と皆様、花火に釘付けでした！

千葉 特別養護老人ホーム三山園



第2回ピアノ演奏会を開催！

演奏してくださったのは前回同様、黒河内様です。「憧れのハワイ航路」「少年時代」などの曲に、聴き入る皆様。「青い山脈」は大きな声で歌われてました。

千葉 デイサービスセンター三山園



やさしい日常シニアヨガ

先生の穏やかな声に合わせて、深呼吸をしながらゆっくりと体を動かしました。参加された皆様からは「体が軽くなった」「気持ちすがすがしい」と笑顔が見られました。



各事業所では、ブログを更新中！こちらに合わせてチェックを。



<https://1000.or.jp/blog/>

ICT^{*}を活用しよう！座談会

※「情報通信技術」を活用し、介護業務の効率化や質の向上を目指す取り組み

——ICT委員会とは？

松平 ICT技術を活用して業務を円滑にしたり、よりよいサービスを提供するための組織です。ちとせ小町では、4月に発足しました。北本や三山園も同じ時期でしたか？

半谷 由美子さん

入職3年目のちとせ北本の介護主任。ICT委員会に所属し、事業所内で使える機器を研究している。



富田 真美さん

三山園の介護職員。4月にちとせ稲毛から異動し、ICT委員として音声による記録入力ソフト導入を担当している。



豊野 亜由美さん

ちとせ稲毛のフロアリーダー。委員会制ではないが、2か月かけて事業所内のICT化を促進した。

松平 敏弘さん

ちとせ小町のフロアリーダー。ICT委員として、大阪万博への視察を提案したが残念ながら通らなかった。

半谷 そうですね。北本の場合は各ユニットリーダーが所属して、委員会が立ち上がりました。具体的なICT機器の導入はまだしていませんが、月に一度メンバー内で研修をしたりして、その時に備えています。豊野 稲毛で導入しているのは「ハナスト」という、音声で介護記録を記入できるアプリです。インカムというマイクに向かって、お客様の食事・入浴・排泄についてや日々のご様子を話すとそのまま記録に残るというものです。

富田 「ハナスト」は三山園でも導入をしています。ただ、3月まで紙媒体による介護記録でしたので、4月に委員会を設置して職員に慣れてもらうようにしました。3か月かけて、パソコンを使った文字



▲介護記録システム「ハナスト」を使う職員



▲慣れてくれば、外国人職員にも強い味方！

入力の練習を経て、10月からタブレットを使つての「ハナスト」を取り入れたところで。

——それぞれの取り組みを教えてください。

半谷 10月に都内で行われた「介護機器展」に、委員会メンバーと視察に行ってきました。北本のお客様の状態に合った、移乗のためのマシンやロボットなどの最新機器を目の当たりにしてきました。実際に北本に取り入れた際のシミュレーションや、こんな最新のものがあるという情報共有を行っています。

松平 月に一度、新しい機器について勉強し、ちとせ小町での導入した場合のメリットなどを検討して本部に提案しています。すぐに大きく変わることはありませんが、提案を続けています。

豊野 わたしは少し慣れてきました。食器を洗いながらお客様の介助をしながら、「ハナスト」での記録作成をしています。稲毛は若い職員がすぐ使いこなしていましたね。彼女らが中心となって、やり方を教えてくれていますね。

富田 技能実習生として働いている外国籍の職員も多いので、日本語表現のニュアンスなど、つかみきれない部分もあります。ただ話せばいいのではなく、どのようなテーマをピックアップするのか。外国人職員を対象に研修を開いて、使い方を勉強しています。

松平 ちとせ小町は年配の職員も少なくありません。普段から使い慣れていないタブレットを無理やり使わせるのではなく、まずは興味を持ってもらえるように少しずつ触ってもらおうことを意識しています。

豊野 ICT化によって、お客様との時間が増えることが目的だと思うんです。空いた時間で、よりいいサービスをするという本質を忘れないで

いきたいですね。

——ICTを使うことで、どんな未来を見えていますか？

富田 三山園は、まずは時代に追いつくケアを目標にしています。これまでの働き方が変わることによって、ストレスを感じる人も少なくないと思うので、少しずつ段階を踏んで、ステップアップしていきたいですね。

半谷 将来こんな機器が使えるといいなという意味で、お客様を移乗するスライディングボードで体重を測ったり、シフト作成をAIがしてくれたり。福祉機器展で見てきたばかりなので、夢は膨らみます。が、まずは「ハナスト」をスムーズに導入できるように体制を整えたいです。

豊野 AIがまとめることで誰でも会議の議事録が取れるようになって、外国人職員にも仕事がふれるようになる。実践的な活用方法を模索し、提案していきたいです。

松平 豊野さんも言っていましたが、空いた時間でお客様の散歩の時間や外出の機会が増えるといいですね。月に一度だった介護旅行が2回になるなど。機器を使いこなすことも大事ですが、楽しさにつながっていけるといいですね。

——笑顔が増える活用になるといいですね！ありがとうございました。



▲福祉機器展に視察の様子